



北東西南 (NEWS) 2021年 春号

発行所 和歌山高齢者生活協同組合
住所 和歌山市里198-1
電話 (073)488-1180

ホームページ

人生の完成期、輝いて生きる！

組合員数 4,332名 (2020年12月31日現在)

- ・巻頭特集
「生活支える訪問介護」
1〜3面
- ・今年度の理事・監事を紹介
6〜7面
- ・注目
令和・お助け隊が発足
8面

住み慣れた地域で生活を 家での暮らしを守る「訪問介護」



訪問介護を行う「伊都・橋本事業所」の職員
左から2人目が所長の井上さん

「住み慣れた場所ですつ
といることができるのは利
用者さんにとって幸せなこ
と。それを手伝えるのがヘ
ルパー訪問介護員という仕
事の魅力です。世話好きで
ほっとけない性格の人は
きっと活躍できます。仕事
をする中で元気を届けられ
るし、自分も元気がもらえ
る。やりがいのある仕事で
す」

訪問介護事業所を束ねる
井上 美香さん

県内の高齢化状況を見ると、65歳以上の人口割合は32・4%（近畿1位、全国9位）、最も高齢化率が高いのは古座川町で52・6%に達します。「和歌山県高齢者等生活意識調査報告書」（2020年3月）によると、将来、介護が必要になつた場合の居住地について、「在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら自宅で住み続けようと思う」と答えた人が61・8%に上りました。高齢協はこうした高齢者の思いを受け止め、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう県内3ヶ所で訪問介護事業所を運営してあります。

訪問介護員（ホームヘルパー）のお仕事

在宅で生活している人の自宅を訪問し、介護や生活援助を行います。

具体的には、食事や入浴、排せつなどの支援を行う「身体介護」と、調理、洗濯、買い物などの援助や代行を行う「生活援助」があります。



島さん(右)と散歩に出かける雑賀さん

密着

ヘルパーの

お仕事

【移動支援編】

わかやま訪問介護事業所ヘルパー

島 哲也さん

「ごめんください」。和歌山市の障害者グループホームを訪れた島さん。毎週土曜日は知的障害と弱視がある雑賀

沙矢加さんと散歩に出かける「移動支援」を行っている。出かける先は一緒に決めており、利用時間が1時間だと近所のお店や公園へ、2時間だと和歌山城内の動物園まで歩いて出かける。

この日は1時間コース。一緒に手をつないで歩く雑賀さんの表情は明るく、足取りは軽い。島さんとは5年の付き合いで、一緒に出掛ける週末を心待ちにしている。近くのコンビニで気になる商品をチェックし、公園のベンチで何気ない会話を楽しむ。公園の次は、ドラッグストアで好きなジュースを買い、近所のコミュニティセンター

のエントランスでホッと一息。飲み終えるとグループホームへと戻る。「ヘルパーを始めたころに出会った利用者さんで、現場の楽しさを教えてくれた人。お出かける時間を共有し、雑賀さんの楽しさや好奇心、興味広がる様子をみて、やりがいを感じます」と島さん。接する時の配慮として「なるべく自分で



できることは自分でしてもらおう。あと、その日の体調や興味の対象などを引き出し、会話を絶やさないようにしていきます」と話す。

グループホームを管理する里崎美鈴さんは「島さんを信頼しきっていて、本人も安心できています。施設内になるとどうしても閉鎖的な気持ちになりがち。外出すると五感が働き、周りの物事にも響くので体調面や精神面に良い効果がある。島さんというヘルパーがいてくれて本当に助かっています」と語る。

訪問介護員を大募集

※同封チラシ参照

高齢協では訪問介護事業所で働く仲間を募集しています。昨年12月から待遇改善に乗り出し、常勤職員で資格手当を含め約3万円/月の給与アップ、パート職員も身体介護の時給を200円アップさせ、資格手当と移動費も増額しました。

〈常勤職員〉

基本給 16万5,000円⇒18万円
介護福祉士手当 3,000円⇒1万5,000円

〈パート職員〉

身体介護 時給1,400円⇒1,600円
介護福祉士手当 5%割増⇒時給100円増額
移動費 1件100円⇒150円

訪問介護員になるには？

資格「介護職員初任者研修」以上が必要です。訪問介護は基本的に1人で利用者宅を訪問し、生活援助（掃除、炊事など）や身体介護（食事支援、排泄介助など）を行います。高齢協では訪問介護員になるために必要な資格研修の受講料を補助しています。

職員の声

パートさんは訪問と訪問の間の時間に家にちよつと寄って洗濯物を取り入れるなど、好きな時間に動けるのが訪問介護の特徴。どの世代にとっても、ワークライフバランスがとりやすいと思います。みんなで事業所を作っている感じも、働きがいにつながっています。

自宅に訪問するので本人さんやその家族さんから、その場で直接話を聞けるのが魅力。職員間も『お互いさん』の精神が強く、みんなの声を聞いて運営してくれるのでやりがいがあります。

研修の時に施設の介護職員も経験しましたが、私には訪問介護が合うと思いました。利用者さんと1対1で話しやすい、利用者さんが喜ぶと私もうれししいし、悲しむと一緒に悲しむ、共感が大きいです。

採用者と紹介者に記念品

組合員や職員の紹介で正式採用に至った場合、採用者に1万5,000円、紹介者に3万円をお贈りします。身近な人で「訪問介護」に興味のある方がいたら、お近くの事業所までお電話ください。

高齢協の訪問介護事業所（住宅を除く）

■わかやま訪問介護事業所（和歌山市楠見中、電話073-455-7979）

■伊都・橋本事業所（橋本市高野口町伏原、電話0736-43-1546）

■御坊・日高事業所（御坊市藪、電話0738-23-0396）

※共通名称は「ケアセンターおたっしゃ倶楽部」です。



輝く！ 組合員！①

手話でつながるバッジ

田中 匡子 さん (60) 和歌山市
藤本佐知子 さん (52) 和歌山市

耳の不自由な人が安心して暮らせるよう、「手話ができます」「手話勉強中」「筆談できます」などと書かれた缶バッジを2人で製作して健康者に配っている。活動開始から半年、缶バッジの売上金を県内初の聴覚障害者対応の老人ホームに寄付した。2人は「ろう者が聞こえなくて困ったとき、だれに助けを求めて良いのか戸惑いがある。バッジをつけている人であれば安心して助けを求められるはず」と期待する。

田中さんは看護学校を卒業する時、友人の紹介で手話に興味を持った。しかし、仕事と育児に追われて本格的に学べずにいた。30年ほど経った4年前、勤務先の病院にろう者の患者が来て、手話で挨拶するように。関わるうちに再び手話を学びたいとの思いを強め、患者に教えてもらったり講座に通った

りするようになった。

ろう者の患者が数人来るようになったある日、一人の患者が耳が聞こえないために交通事故にあつて命を落とした。「手話を学びたいという私の気持ちに応援し、一つ一つ増えるコミュニケーションの喜びを教えてくれた人でした。ろう者の患者に笑顔が増える手話を絶対に続けていこうと決心しました」

ある日、電車に乗っていると、トラブルで電車が止まった。車内アナウンスが流れ、別の電車に乗り換えて帰ることができたが、聴覚障害者が車内にいたら無事帰宅できただろうか……。そんな気が

きから生まれたのが缶バッジだ。娘や藤本さんの協力を得て、大小計250個のバッジを手作り。当初、ろう者に説明したところ反応は良くなかった。「自分がるろう者だと知られたくない」「そんなことをしても意味がない」「助けてくれない」。諦めに近い

当事者の声に戸惑ったが、「力になりたい」との思いをまっすぐ伝え続け、

関係団体などで周知してもらえるようになった。

昨年末にはろう者が利用する老人ホームに売り上げの一部を寄付。2人は「電車内だけでなく、災害時にも役立つ。バッジをきっかけに、そういった話題が出れば、『誰かの役に立ちたい』との思いと支援の輪を広げていけるはず。バッジを置いてくれるお店や協力者を増やしたい」と望んでいる。

バッジは大400円、小300円。田中さん (yuzu.ten4381@gmail.com)。



「手話バッジを広めたい」と田中さん(左)と藤本さん

輝く！ 組合員！②

ものづくりの楽しさ 次世代へ

石橋 哲郎 さん (83) 和歌山市

竹とんぼを作って飛ばす楽しさを伝える高齢協の組合員活動「どこ竹わかやま」。2007年の発足から材料の準備、子どもたちへの指導と活動の中心を担ってきた。新型「□ナウイル」も感染拡大のため活動縮小を余儀なくされているが、5月8日（土）に久々の教室を開く。「自分で作ると、どうすればもっと飛ぶか、きれいに飛ぶかなど考えて工夫が生まれる。ものを大切に作る心を育てたい」と目を輝かせる。

新宮市出身。戦争で父を亡くした。親戚の力を借りながら母子家庭で育ち、中学卒業後は丁稚奉公で、三重県桑名市にある親戚の金物屋で世話になった。20歳を過ぎたころ、いとこの誘いで和歌山へ。建築土木を扱う会社で約40年働いた。

現場仕事が中心だったが、道具の修理や溶接、道具を製作するなど器用な手先を生かし、60歳の定年後も嘱託職員として68歳まで勤めた。一方で60歳から15年間携わったのが地区の児童民生委員。「40年ほど職場と家の行き来だけの生活でしたから。自由になって、地域の役に立ちたいと思ったんです」委員の活動で子どもたちに竹とんぼや凧作り、シャボン玉遊びなどを教えた。2007年に高齢協が開いた「ど



こでも竹とんぼ教室を開こう!! リーダー講習会」に参加し、地域のイベントや小学校で出前教室を開くように。刃物を使わずにろうそくの火であぶって竹をねじって羽を作るが、ねじる角度や左右の羽の重さがわずかに異なるとうまく飛ばない。竹とんぼの奥深さと、工夫の余地に面白さがあり、子どもたちは指先の微妙な加減を探りなが

ら真剣に取り組む。

竹は娘の嫁ぎ先にある竹藪から切り出し、乾燥させて油を抜き、竹とんぼの工作用に加工する。教える中で感じるのは「子どもたちの自主性」。積極的に作り方を聞いてくる子や、勝手に先々作ってしまう子もいるが、そういう子は少数で、「次、何するの?」と指示を待っている子がほとんどだ。「なるべく手伝い過ぎないよう、自分で気づき、完成させられるように」と心がける。出来上がった竹とんぼを大空に飛ばし、夢中になって追いかける子どもたちの姿がやりがいだ。

「小さいころは親戚を中心にたくさんの人に助けてもらった。人の役に立ちたいとの思いはずっとあり、ボランティア活動は恩返しのため。準備や運営は大変なところもありますが、全く苦ではないです」と笑顔を見せる。

【竹とんぼ作り教室】

5月8日（土）午前10時～正午、和歌山市里のやまべちささえ愛センター。石橋さんはじめ、「どこ竹わかやま」のメンバーが竹とんぼ作りを指導する。200円。6歳以上対象。希望者は高齢協本部（073・488・1180）。

語る高齢協の魅力

2020年10月30日第3回理事会で語っていただきました



はたけやま ほみ
常務理事 畠山 穂美
田辺市

職員への思いやりがあり、組合員さんを大事に思っているところ。皆と一緒に物事を考え、意見を取り入れてくれる素敵な組織。



うちだ よしたか
専務理事 内田 嘉高
和歌山市

組合員さんの困りごとから悩み、やりたいことにも（知恵と工夫で）応えようね、と堂々と言えるところ。



和歌山市
しま くみこ
副理事長 島 久美子
和歌山市

シニアの気持ちはシニアが一番よくわかる！わが人生の最終ステージは「人任せ」でなく納得して過ごしたい。仕事・生きがい・安心を組合員が主人公になって具体化できるのが高齢協の魅力！です。



たなか ひでき
理事長 田中 秀樹
和歌山市

「自分のことは自分で」という政策が進められる中、行政が何をするのか本末転倒になっている。高齢協の役割は、支え合っていくことだと思う。



しばた つとむ
理事 芝田 努
海南市

ヨガ指導を通じて仲間の輪が広がっている。中には気を使って増資をしてくださる人もいます。



やまだ みよし
理事 山田 三代士
海南市

海南で組合員と助け合いながら仲間を増やし、地域とのかわりを広げることができた。



かながわ
理事 金川 めぐみ
和歌山市

自由に色んな発言ができること。それぞれの心に、みんなで盛り立て、高齢協を愛する気持ちがある。



うしだ やすじ
理事 宇治田 康司
和歌山市

老後の人生、自分らしく生きてみたいを実践できる場であり、新たな多くの仲間との出会いは「老いても」感性が高められ、気持ち、行動を奮起させてくれる。



おばせ みつひと
理事 小長谷 恭史
岩出市

組合員メリットがある。なんでも相談電話を作るうというところ。形にできるところ。



いのうえ みか
理事 井上 美香
橋本市

介護・福祉の働く仲間や本部とも連携が取れ、ささいな意見でも取り入れてくれる、聞いてくれる法人だと思う。



きただ ちえ
理事 北田 千恵
岩出市

意見を反映させられる組織。高齢でも参加でき、輝いて生きることができる組織だと思う。



やまだ としはる
理事 山田 俊治
和歌山市

“人生100年時代”に向けて、高齢協の理念である“人生の完成期、輝いて生きる”への様々な取り組みに、沢山の会員の方々と共に元気で楽しく、其々の生きがいを持って活動出来る場です。

高齢協の ここに注目!! ⑦

理事・監事が



理事 ^{よこはた}横畑 ^{しんじ}真治
田辺市

人生 100 歳時代で高齢者という言葉をなくしたい。「折り返し 25 歳」など良い表現を広めたい。



理事 ^{さかくち}坂口 ^{けいこ}圭子
紀の川市

多種多様な経験を持った方々の集団。その繋がりの中で感銘を受けたり、刺激を貰えたり、同じ楽しみを一緒に分かち合えるのは、「楽しみながらお互いに支え合う」という目的が共通しているということでしょうか。



理事 ^{かしわぎ}柏木 ^{かつゆき}克之
御坊市

自由に動けるところ。行政の支援が薄まる今後、弱者救済の仕組みを作っている組織だと思う。



理事 ^{やまもと}山本 ^{いさお}功
和歌山市

地域の人を巻き込んで活動できているのが魅力。作業所の人と地域の人との接点づくりが良い。



理事 ^{うしむら}牛村 ^{ゆうた}優太
橋本市

お助け隊活動において、助け合いの気持ちが目に見えるのが一番だと思う。



理事 ^{やすなり}安成 ^{まさみ}正美
和歌山市

コロナ禍にあっても、様々な活動を通して心の繋がりを大切に、相手を思いやり、寄り添うスタッフの姿が魅力です。



理事 ^{おか}岡 ^{としき}利樹
紀の川市

トップダウンでなくて職員一人一人の声を聞いてくれる組織ということ。組合員の声を大事にしている。



理事 ^{すぎはら}杉原 ^{みちお}通男
和歌山市

経験や知恵など高齢者ならではの財産を地域に伝播している組織が高齢協だと思う。



監事 ^{いわはし}岩橋 ^{のりひさ}典久
和歌山市

介護保険外のニーズは多く、お助け隊活動の意味は大きい。助け合いの心、精神を大切にしている。



監事 ^{ひの}日野 ^{のぞみ}のぞみ
和歌山市

介護事業だけでなく、組合員一人ひとりの自主的な活動が活発なところ。



監事 ^{しば}志場 ^{ひさき}久起
和歌山市

助け合い活動。国の政策が後から追いついてきた感じで、今はトップランナーになっているのでは。



高齢協の ここに注目!!

⑧「令和・お助け隊」 新たに発足



高齢者の助け合い活動として県内6つのグループで長年活動を続けている「お助け隊」。新たな担い手として期待されるグループ「令和・お助け隊」が発足しました。昨年5月に開いた養成講座の受講生を中心に60代〜80代の約10人で立ち上げ、組合員から寄せられ

る家の片づけや庭の草刈りなどの作業を低価格で請け負っています。12月1日には和歌山市里の高齢協本部で発足式を開催。新米隊員に加え、先輩隊員や和歌山市地域包括支援センター・川永の島村浩(きよし)センター長、近隣の高齢協事業所の所長らが出席しました。島村センター長は「コロナで今までできなくなった活動の縮小が余儀なくされ、それらが生活の中の大変な位置を占めていたと実感している。住民の助け合

い活動はますます重要になり、お助け隊活動が市内全体のお手本となるよう、活動を応援したい」、田中秀樹理事長は「地域と組合員がつながっていく重要な事業として高齢協発足時から続いてきた活動。苦しんでいる人たちに助ける気持ちで活躍してほしい」と

いう活動はますます重要になり、お助け隊活動が市内全体のお手本となるよう、活動を応援したい」、田中秀樹理事長は「地域と組合員がつながっていく重要な事業として高齢協発足時から続いてきた活動。苦しんでいる人たちに助ける気持ちで活躍してほしい」と

イーを贈りました。令和・お助け隊の辛嶋正憲隊長は「すでに活動を始めているが、身の回りのことで困っている人が多いと実感している。大した技能もなく、お叱りを受けることもあるだろうが、先輩の技術を盗みながら頑張っただけ」と抱負を語りました。式の後、隊員の笹木誠次さんがギター演奏する音楽グループ「チヨコつとワイン」が発足を祝って歌を披露しました。

令和・お助け隊は、家の片づけや庭木の剪定、草むしりなどを低価格で請け負います。依頼は令和・お助け隊(073・488・1180)まで。一緒に活動する仲間も募集中。

できる事

草刈り、せん定、片付け、日曜大工、エアコン取り外し、盆栽相談、自動車の軽修理、洗車、生前遺影撮影など

費用

1,200円 × 人数 × 時間
+ 諸経費 (処分代など)

活動エリア

和歌山市、岩出市、紀の川市、海南市

告知板 「この指と～まれ！」

「紀和庵 3・4月の行事」

住所 和歌山市中之島 782

- ・3月25日(木) …体操
- ・3月30日(火) …ビデオで落語会
- ・4月1日(木) …紀和公園でお花見
(お花見弁当 1000円)
- ・4月8日(木) …脳トレ
- ・4月13日(火) …紀和庵喫茶
- ・4月15日(木) …歌をうたおう
- ・4月20日(火) …フラダンス
- ・4月22日(木) …体操
- ・4月27日(火) …カラオケ

参加費等詳細とお申し込みは
高齢協本部 (073-488-1180)。

わがらカフェ(紀の川市つどいの場事業)要申し込み

……… みんなで唄ってげんきになりましょう! ……

4月15日(木) 午後1時半～2時半
和歌山市を中心に活動する音楽グループ「さくらもち」
が登場。懐かしの唱歌や昭和歌謡を皆で歌う。茶菓子付き 100円。

会場は和楽の家(紀の川市上野 299-1)。お申し込みは高齢協本部 (073-488-1180) まで。



2021年の総代会は6月20日(日)開催!
時間、会場等は後日ご案内いたします。

紙上で実践! すこやか講座①

・フレイルとは?

健康な状態と介護を受ける必要がある要介護状態との間の状態を「フレイル」と言います。具体的には、加齢に伴い筋力が衰え、疲れやすくなり、家に閉じこもりがちになるなど、年齢を重ねたことで生じる衰え全般を指します。つまりは、体重の減少や筋力低下などの身体的な変化だけでなく、気力低下など精神的な変化や社会的なものも含まれるのです。

・フレイルに陥るとどうなるのか?

フレイルの状態になると身体能力が低下するとともに、病気にかかりやすくなり、ストレスに弱い状態になります。風邪をこじらせて肺炎を発症したり、筋力低下から歩行状態が不安定になり、転倒して骨折する可能性が高まったりと、健康な人であればすぐに治り、軽いケガで済むことが、重症化しやすくなってしまいます。

・なぜ今フレイルなのか?

新型コロナウイルスの感染予防の為に、外出する機会、友人と会う機会等が減っている方も多くいらっしゃるかと思います。自宅だけの生活になってしまうと、活動量が少なくなりがちで、筋力の低下や筋肉量が減少していきます。また、動く機会が減ることで、食欲が湧かなくなったり、偏った食事になることから栄養状態が不十分となり低栄養となってしまいます。それ以外にも社会的な交流の機会が減少することで、刺激が無くなり、意欲低下や認知機能の低下等にも繋がります。こういった負のサイクルに陥りやすいのがコロナ禍です。

コロナ禍の今こそ、フレイル予防に取り組むことが大事となるのです。
※次回は「自分がフレイルなのか?」チェック方法等をご紹介します。

講師プロフィール

岡 利樹(デイサービスUUGO所長) 2016年4月から2019年3月まで和歌山高齢者生活協同組合の職員(デイサービスれくらん)として勤務。2019年9月に紀の川市にデイサービスUUGOを開設。運動・栄養・社会参加に注力したサービスを実施中。また、紀の川市の65歳以上の方を対象とした配食サービスも実施中。



就労継続支援B型事業所 ワークショップてとて

「買い物に行けない」「家の片づけ
どうしようか」……。こうした暮らしの
身近な悩みを解決いたします!
まずは、お気軽にお電話ください!

【できること】

- 草引きや掃除、片付け
- 買い物代行 ●粗大ごみの処分
など

【エリア】

和歌山市、岩出市、紀の川市、
海南市

【日時】 月曜～金曜(祝日除く)
午前9時～午後4時

【料金】 30分=600円

お問い合わせ「ワークショップてとて」

電話 073-461-6756

〒649-6311 和歌山市里 266

お困り
ごまかせんか

活動レポート

オンラインで広がる可能性



開催：11月～1月

場所：やまぐちささえ愛センター

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、和歌山市里のやまぐちささえ愛センターではインターネットを使ったテレビ会議などができる環境整備を進めています。これまでできなかった形の会議や県外と



宮城県の子もたちと和歌山のみかん農家がつながった(12月)

の交流などが実現。12月には東日本大震災の被災地、宮城県とつないでの交流、1月にはオンラインセミナー(写真下)を配信し約90人が受講しました。

12月は和歌山市青年団体協議会などが企画した東北との交流企画。毎年現地を訪れている活動がコロナの影響で訪問できなくなったため、オンライン交流を考えました。当日は津波で亡くなった人たちの慰霊碑を訪れる中継が宮城から配信され、和歌山で黙とうを捧げたほか、和歌山からはみかんの「和歌山むき」を紹介しました。

初のインターネットを使った講習会となった「高次脳機能障害リハビリテーション講習会」は1月に開催し、約90人が参加。医師や関係団体による講演のほか、家族会などが大阪、和歌山から活動状況を発信、最後は参加者全員で歌を歌って親睦を深めました。近隣だけでなく、東京など全国から参加者を集められたのはオンライン開催のメリットの一つで、司

会を務めた山本功さんは「障害で外出が難しい人も、オンラインだと家から参加してもらえました」と喜んでいました。

コロナで不便なことが増えた一方、インターネットを使った会議ツールを駆使することで、新たな活動の展開が生まれ、バリアフリーが進んだり良い変化が出てきています。

センターの利用希望は高齢協本部(073・488・1180)まで。利用料は前回の通信を参照してください。



活動レポート

悩みや困りごと 相談を

開催：毎月第2木曜

場所：電話073・488・1237

組合員さん

を支える活動

として、20

20年10月か

ら「組合員の

ためのなんて

も相談電話」

を、毎月1回

取り組んでいます。これまでに「外出時のサポート」「葬送事業への問い合わせ」「不動産関係」等のご相談に対応させていただきました。

お電話をいただきありがとうございます。

がとつございました。

開催日以外にも着信があることが多

く、皆さんの期待が感じられます（その

場合は、留守番電話対応のアナウンスで

開催日時をお伝えしています。月1回

の開催は決して十分とは言えませんが、

先ずは毎月定期開催することで組合員さ

んのニーズに応える高齢協をめざしま

す。「気になることや不安、年金について、

こんなことやってみたい」等、お気軽に

お電話ください。



消毒剤で安心・安全に

実施：毎月

場所：高齢協の各拠点

新型コロナウイルス感染拡大を防ぐこ

とと、万が一当法人で感染者が発生した

場合の消毒作業用にと抗ウイルス薬剤

「D7」を購入しました。毎月、県内各

地にある高齢協の介護事業所と組合員活

動の拠点での散布を実施しています。

ウイルスや細菌、有毒物を無力化し、

脱臭効果も期待されるD7。アメリカ環

境保護庁に新型コロナウイルスとして指定

されており、中国・武漢市の消毒にも使

用されています。日本国内でも公共施設

や交通機関などでも散布されておりま

す。

人体に害は

なく、効果は

約1カ月間持

続。こつした

取り組みを通

じてコロナウ

イルスの感染

リスク低減を

進めてまいり

ます。



抗ウイルスの床に張り替え



実施：1月

場所：やまぐちあたっしや館

やまぐちあたっしや館では1月、デイ

サービス「れくらん」とサービス付き高

齢者向け住宅が共有している事務所の床

を張り替えました。

従来のタイルカーペットは飲み物など

をこぼした時にすぐふき取れなかったた

め、衛生面に問題がありました。今回、

新型コロナウイルス感染拡大防止を目的

に、抗ウイルス素材でふき取りやすい素

材に変更。ウイルスが定着しにくいこと

に加え、木目の美しい事務所へと様変わ

りし、職員のモチベーションアップにも

つながっております。

映画紹介「ムービーガイド」

作品名：男はつらいよ 50 お帰り寅さん

監督：山田洋二 2019年製作／日本／116分

渥美清は既にな
いので、シリーズ後
半で事実上の主役
だった満男を中心に
描く。小説家になっ
た満男は、かつての
恋人・泉と再会。寅
さん一家のその後を
描きつつ、過去作の
映像を使って見事に
新しい作品に昇華。
ここでの寅さんは、
ヤンチャなフーテン
の寅ではなく、悩め
る満男を静かに見守る天使のようだ。これは、まさ
しく愛すべきファンタジー。観る人の人生を重ねる
ように、それぞれの寅さんが立ち上がってくる。



わかやま訪問介護事業所 島 哲也

友の会旅行倶楽部より お知らせとお礼

旅行倶楽部では和歌山高齢協立ち上げ当初より、年
1回親睦を兼ねて海外旅行を計画してまいりました。
その間、多くの組合員のみなさん方に参加いただき、
交流を深めてこられたことなど思い出がいっぱいで、
大変うれしく思っています。

2016年のミャンマーへの旅行で海外旅行は終了と
し、2018年、2019年と国内旅行に取り組んできました
が、本年(2020年)は年初めより新型コロナウイルス
感染が猛威をふるい、収束の目途が立たない中、
年末を迎えてしまったことは残念ですが、幹事会を開
き本年をもって友の会旅行倶楽部を解散することを決
定しました。

長い間旅行に参加いただきましたこと、協力いた
だいたことに幹事一同感謝の気持ちでいっぱいです。

また、阪急交通社の村上さんはじめ、多くのみな
さんには、私たちのわがままな要望にも気持ちよくお
応えいただいたことにも感謝いたします。

みなさま方の益々の活躍と健康を願いつつ、お礼と
させていただきます。

2020年12月 幹事一同

神谷 治良 中西 優 永原 亮三 南本 勲

和歌山高齢者生活協同組合の姿

和歌山高齢者生活協同組合は組合員さんによる互助組織であり、互いの困りごとを助け合う集団です。生きがいづくり事業やお助け
隊による生活支援など活動は多岐にわたり、介護・福祉事業にも力を入れています。

◎介護・福祉事業所(和歌山県内11ヵ所)

- ・わかやま訪問介護事業所(訪問介護)
和歌山市楠見中 240-49 電話 073-455-7979
- ・和歌山ケアプランセンター(ケアプラン作成)
和歌山市中之島 758 電話 073-424-5295
- ・やまぐち おたっしや館(サ高住)
和歌山市里 198-2 電話 073-462-1055
- ・やまぐち訪問介護事業所(訪問介護)
和歌山市里 198-2 電話 073-462-1055
- ・れくらん(デイサービス)
和歌山市里 198-2 電話 073-462-5558
- ・ワークショップてとて(障害者就労継続支援B型事業所)
和歌山市里 266 電話 073-461-6756
- ・伊都・橋本事業所(訪問介護)
橋本市高野口町伏原 243 電話 0736-43-1546
- ・伊都・橋本ケアプランセンター(ケアプラン作成)
橋本市高野口町伏原 243 電話 0736-44-2330
- ・御坊・日高事業所(訪問介護)
御坊市園 397-2 電話 0738-23-0396
- ・かみとんだ おたっしや館(サ高住)
上富田町生馬 3225-19 電話 0739-47-0866
- ・田辺事業所(訪問介護)
西牟婁郡上富田町生馬字救馬溪 185-7 電話 0739-47-0010
- ・白浜ケアプランセンター(ケアプラン作成)
白浜町才野 1322 電話 0739-34-2672
- ・白浜めぐもりの里(デイサービス)
白浜町才野 1322 電話 0739-34-2172

◎組合員による活動拠点(施設の使用、問い合わせなどは本部 073-488-1180へ)

- ・やまぐちささえ愛センター 和歌山市里 198-3
- ・和我楽の家 紀の川市上野 299-1
- ・いっぶく亭~紀和庵 和歌山市中之島 782

◎組合員の活動(ご参加ください)

【お助け隊】和歌山、伊都、御坊、田辺を中心に活動。暮らしの中の困りごとの解決依頼を受け、現役時代の知識や経験を生かして有
償ボランティアで活動する。

【JIAS PC(パソコンサークル)】月曜と金曜、紀和庵にて。パソコンを使ってのアルバム作成やワープロの練習、使い方の教え合いなど。
(北村さん 090-7107-0892)

【どこ竹@わかやま】竹とんぼ作りの出前教室を小学校やイベント会場で開催。(石橋さん 090-2287-9588)

このほか、ささえ愛センターや紀和庵では、健康体操や絵手紙教室、名曲喫茶など組合員による自主企画が行われています。

◎本部(和歌山市里 198-1 電話 073-488-1180 FAX073-488-1181)